

会 議 録

- 1 会議名 第1回白山会館運営委員会
- 2 議題（公開・非公開の別）
 - (1) 平成25年度白山会館事業の事業報告について（公開）
 - (2) 平成26年度白山会館事業および平成27年度事業計画について（公開）
 - (3) その他（公開）
- 3 開催日時 平成26年5月30日(金) 午前10時00分から午前11時00分
- 4 開催場所 白山会館 第1・2研修室
- 5 傍聴人の数 0人
- 6 非公開の理由 なし
- 7 出席した者（傍聴人を除く）氏名（敬称略）
 - ・委員：寺田委員長、渡辺副委員長、磯貝委員、藤本委員、中村委員、吉村委員、橋本委員、白川委員、森田委員、山岸委員、井部委員（秋山委員、浦沢委員：欠席）
 - ・事務局：生涯学習推進課 笹川課長、牛木係長、市川主任、保坂社会教育指導員、横山社会教育指導員
- 8 発言内容
 - 【開会】
 - 【委員・事務局員紹介】 白山会館運営委員は、変更なし。
4月異動により新しく担当となった生涯学習推進課職員の紹介。
 - 【寺田委員長あいさつ】
(寺田委員長)
今年度は改選はなく、また異動や組織内での役員変更もなかったため、前年度と同じメンバーで白山会館事業を運営していくこととなった。よろしくお願ひしたい。最近、集团的自衛権について議論されているが、その問題を考えるに、人権というものは、勉強し、守るものなのだという思いを強く持つ。白山会館の事業は、そのために役立っていると思う。
 - 【協議】
 - (1) 平成25年度白山会館事業の事業報告
事務局から、資料「平成25年度上越市社会同和教育事業報告」に基づいて説明を行った。
(寺田委員長)
25年度も多く現地学習会が開催された。講師にご協力いただいた支部の皆さん、お疲れ様でした。

(2) 平成26年度白山会館事業および平成27年度事業計画について

事務局から、資料「平成26年度上越市社会同和教育事業計画」に基づいて説明を行った。

(事務局)

前年度と同様、継続していくことを大事にそれぞれの事業を行っていききたい。県民アンケートの結果を受けて、啓発活動が大切になっている。より活発に事業を実施していきたい。また、皆さんから意見をいただき、来年度の事業計画につなげたい。

(寺田委員長)

よりすそ野を広げるには、どうしたらいいか。

(事務局)

公民館等の講座に組み込むことを考えている。公民館等で開催している講座には年間40,000人近くの参加がある。ただ、人権教育だけの講座では弱いので、他の活動と一緒に行うとか、やり方を考えなければならない。

(吉村委員)

10月に婦人会の総会があるので、人権に関する講座をそこでやりたいと考えている。自分たちの年代には難しいと思うが、一步を踏み出すため声を出してみた。日程が近付いたら、改めて相談させてほしい。

(寺田委員長)

素晴らしい取り組みだと思う。こういった動きが、少しずつでも表れてくるといい。

(中村委員)

白山会館の貸し出しの内容は、どんな団体が使っているかなど。

(事務局)

主なものは、北本町4丁目町内会、子ども会、他団体の勉強会、白山会館事業（現地学習会・小中学生学習会）である。

(渡辺副委員長)

新発田市の隣保館は地域ふれあいの面での活動が活発に行われている。公民館がやっている講座をそこで رفتり、行政がいろいろな活動の会場として紹介したりしている。施設利用のヒントだと思う。

(藤本委員)

現地学習会の内訳をみると、受講しているのは学校や行政だけである。他の団体が1つでも2つでも現地学習を受ければ、それだけ広がっていく。

東本町や担当校以外の他の学校で研修会をやっても、なかなか人が集まらない。他団体に現地学習が広がっていかず、知らない人が多いことが原因か？知らない人たちのために、なにか（行事を）白山会館でやってもいいと思う。

(事務局)

ご意見を聞いて、そのとおりでと思う。PRをしていきたい。

(寺田委員長)

白山会館は環境がいいので、地道に取り組んでいってほしい。

(中村委員)

新発田市の隣保館について、白山会館に比べて多様であると言われたが、設立理念が違うのではないか。職員の有無やそこで行われる活動など、白山会館とはまた異なる施設である。

(渡辺副委員長)

隣保館はコミュニティセンターとして設立されたため、常駐職員がいたり、いろいろな地域の催し・事業を行うこととなっている。白山会館の努力が足りないというのではなくて、使われ方が違う。

町内会のほうも拒絶していたものが共有するようになってきた。教育を拠点にした輪が広が

っている状態である。

(寺田委員長)

白山会館と隣保館は、設立当時に受けた補助金がちがう。白山会館は比較的何でもできる、使い勝手がいい。

(渡辺副委員長)

先日の、県民アンケート調査結果について、これは全県的な数字なので、上越だけであれば全然違う数字になると思う。アンケートの中にはいろいろな項目があるが、県がアンケートを作成する時に同盟が入れてもらった項目があり、その項目で問題となる数値が出てしまった。プライム事件を発端にし、問題となっている身元調査への考え方の結果(表れ)ということで、市民啓発の改善を考えてほしい。

(事務局)

意識しながら活動をしていきたい。

(3) その他

白山会館トイレ改修工事の状況について事務局から説明。

(質問・意見なし)

【その他】

(渡辺副委員長)

これから東日本研究集会、関東女性集会等が開催されるので、ご参加いただきたい。特に、10月3日～4日に、佐渡市で部落解放同盟県研究集会が行われるので、皆さんから参加・協力をいただきたい。

(白川委員)

今年度のバスハイキングについて、日程等の細かい打ち合わせがなく、すでに決まってから話が来た。参加者を集める都合もあるので、早めに相談してほしい。また、地域で手伝ってくれる人がだんだん少なくなってきた。来年はどうしたらいいか、ここで考えたい。

(渡辺副委員長)

地域の中で話し合いたい。来年の課題としたい。

(事務局)

第2回の白山会館運営委員会の開催日時について、意見を聞きたい。第3回目は東本町小学校の同和教育研修会と合わせて、11月に開催されるので、その前に皆さんの都合がいい時期があればお聞きしたい。

事務局案としては、9月上旬の日程を予定している。

(寺田委員長)

では、9月上旬として、具体的な日程は後日事務局から委員の皆さんにご案内するということとしたい。

(磯貝委員)

11月の東本町小学校の同和教育研修について、今年度で20回目を迎える。全県の義務教育の学校に向け案内をした。9月に二次案内の文書を発送予定である。佐渡で行われた全県校長会でお知らせさせていただき、大きな反響をいただいた。

今回の研修会の講演には外川正明先生をお願いしている。8月22日に来校していただき、打ち合わせを行う予定である。「子どもの姿を大事にしたい」ということで、実際に学校の児童を見ていただきたいと思っている。

また、3月に東映から授業に使えるDVDが出されたので、ぜひ購入を考えてほしい。

(渡辺副委員長)

DVDは、購入できるのであれば、次回の委員会で見たい。

(事務局)

第3回の運営委員会を、東本町小学校の同和教育研修の前に行いたいのので、時間設定等、後日相談させていただきたい。

(寺田委員長)

人権展などで作成、展示したパネルなどを白山会館ホールに掲示・紹介したらどうか。

(事務局)

壁面にコルクボードを貼る等、掲示できる場所に設置することを検討したい。

【閉会】

9 問合せ先

上越市教育委員会生涯学習推進課社会教育係

TEL : 025-545-9245 (内線 1270)

E-mail : shakai@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。